

問 1 1 鳥取市の自然保護事業に望むことがございましたら記載してください。（自由記載）

鳥取は水も美味しく県外の方からも、自然には大きな期待を持って来られている気がします。外来種は防ぎようがない所もあるかもしれませんが、人間が出来る事(荒地の整備、清掃活動、蛍の保護、絶滅危惧種の保護など)をしていく事、またセミナー、体験イベント、保護活動への知識など、市民で少しでも、簡単に出来る事などが分かれば、小さな力が大きな力へ変わっていくのではないかと感じています。

子どもも参加でき、自然保護について学べるイベントをしてほしい。

企業、教育など、それぞれの立場でできることを支援して、広く市民が継続して関心を持って取り組める仕組み作りをして欲しい。

自分から情報を得にいかない住民にも取り組みがわかる広報をしてほしい。

砂丘で行われている、早朝の清掃作業に子供と一緒に取り組みたいと思っています。

理屈では理解していても自らの生活に直結しているのかしていないのかよくわからず、個人的努力や保護団体への協力参加がなされていない。いろいろなチャンネルで広報し、市民にもっと関心を持っていただくよう勧められたら良いと考えます。自然環境を守るということは自分の家庭内だけきれいにすればよいというものではなく、むしろ外部での行動、関心、心がけが重要だということを市民一人ひとりに浸透させる必要があると考えます。小さい時から親や学校の教育に織り込んで徹底しなければ、当たり前に必要なことなのだと考える大人にならないと思います。

普段の生活で、そもそも自然というものに触れる機会が少なく、私たち大人もですが子どもにとっても自然というのがどんなものなのか、そもそもイメージしにくいのではと思いました。船上山等西部では時々イベントをされているのを目にしますが、鳥取市は子どもが自然を五感で感じられる体験型のイベントが少ないように思います。私が知らないだけだったらすみません。自然の良さやありがたさを感じる体験をすることが、自然保護の大切さを考え行動する基盤になると思います。ぜひそのような企画を増やしていただけたらありがたいです。

子供も大人も自然保護について、敷居高くないような誰でも簡単にか関わっていけるようなイベントや活動があれば、より多くの人に関心をもってもらえると思います。小学校への出前授業などしてみたら興味をもつ子供もいるのではと思います。

アンケートが届き、すぐ、生物多様性の意味を、ネットで検索しました。自然保護の意味は、わかりますが、なにか、漠然としています。具体的に、分かりやすく、情報発信をして頂けたら、関心を持って、取り組む人が、増えるのではないかと思います。

やっぱり砂丘が中心だと思うので、そのあたりの保護などをメインに…

古い木の幹の調査を出来れば半年に一回程度で行った方が良いと思う。また浜坂の土地開発が進み熊やたぬきが住宅街に出てしまっている所以对策を考えた方が良いと思う。

鳥取市は砂丘等環境資源が観光資源に結び付いてしまう。市と企業と協力して共生ができるように個人としてできることがあればと思います。

鳥取は自然が多く、自然保護について学ぶには整った環境があるように思う。もっと子どもたちが自然保護について学べる機会や施設の充実化、また情報の発信があるといいと思う。子どもが学べば、子どもを通じてその親も学ぶ機会になるのでは。

何かキーになるような活動を作り、市民に広く知られるように。

私のように自然保護団体が鳥取にある事を知らない・知らなかったという市民も多いと思います。まずは団体がある事を知ってもらうのが先決で、そこから事業活動の理解と協力を得て活動を広げていけるようになればいいなと思います。

活動に参加したくても、会社をやすんだりする事が、難しい状況もあり、鳥取市からの任命などがあると、活動の為の休暇願に対して、大義名分となり、活動参加に向かいやすくなるのでは。少なくとも、僕は、そうです。

自然保護事業と聞いて、あまりどういったものなのか、どういう活動があるのか、イメージしにくかったです。大人でも、あまり関心がないとイメージしにくいので、子どもが聞いても難しい印象です。なにかイベントを行う。説明や実践をする。勉強する。といった催し物をするのであれば、普段の日常生活からできること、注意することを教えて欲しいです。自然保護事業と聞くと、かしまった感じになるので、Instagramなどのsnsで若い人たちにも目にとまりやすい広告があるとより関心を持ってくれるのではと感じました。夏休みに入ってるので自由研究の題材や小さい子どもにも関心ご持てる体験型のイベントがあれば、子供をもつ母親からしても参加してみたい、気になる、と思います。

自然が多い鳥取だからこそ率先して取り組みを行う必要性を感じるが、自分で情報を仕入れるのは興味の有無により難しい現状である。

楽しく自然について学べるような取り組みを発信して、入りやすい入り口作りをしていく事が大切だと思う。

事業内容がわからないので情報発信をお願いします。

どのような、自然保護事業をやっているかが不明瞭でわからないので、情報発信をして欲しいです。

クマやイノシシ、シカなどの出没が増えて食害や人への攻撃など心配はあるが、排除するだけでなく、みんなが野生動物の生態を知って、共存できるように情報発信して欲しい。
街を歩けばタバコやコンビニのゴミなどが色んなところに落ちているし、川の下流にはペットボトルや発泡スチロールなどのゴミが浮いており、マイクロプラスチックの海洋汚染が心配される。
市民のモラルの向上をはかるよう努力してほしい。

自然保護事業の内容をあまり理解していなく鳥取市が自然保護事業を推進していることも初めて知りました。
意見を書き込むことも難しいです。

担当者は本当に興味のある方でなければならない。業務では続かないので。専門職。

自然が多い鳥取市ならではの取り組みは多様に考えられる。そこに子どもを絡ませれば親も巻き込む事ができ、長い関わりが期待できると思います。

何をしたらいいのかわからないので どうしたらいいのか教えてほしいです。

このモニターアンケートがあったおかげで、自分が生物多様性保全の取り組みを出来ていないことに気づけました。私たちにできることはこんなにもあるんだということ、広報等に掲載していただけたらと思います。

都会にはない豊かな自然をこれからも守って行ってほしいです。

自分は釣りを趣味にし、湖山川や重箱を覗く事がありますが湖山側に関してゴミのポイ捨てや川の水質は酷い気がします。
大事な所だけ草刈りしたりするのはわかりますがもう少し、広い目で見るといいです。
千代川ばかりではなくほかの川も重視して頂きたい。
賀露大橋下のオイルネットは何なんですか？あそこ下には水性物が沢山居ます。
オイルやゴミの防御かもしれませんが、なぜオイルやゴミが影響しているのか確認すべきです。

生物多様性という言葉は今まで聞いたことがなかったので、具体的にどういうものなのかよく分からない。市報などで周知してほしい。

自然保護事業について、知らなかったのもっと発信したほうがいいのでは。

外来種=悪ではなく 外来種も人によって持ち込まれ対応しながら生きているので外来種を駆除とゆうのには反対です。

猛毒等があるものは別ですが。

それよりも固有種も住みやすい環境に整備してあげる方に向けた行動の方がいいと思う。

水質を綺麗に保つや土壌の保全 植物の保全に向ける方がいいと思う。

小規模でもいいので野生動物を保護する動物園、水族館の設置。

気候変動対策と動物福祉のための菜食主義というスタイルもあるということを広める。

IKEAのベジフードのホームページの理念を鳥取に活かして欲しい。2025年までに8割くらいの食品をベジフードにするなどの施策がある。

市民が気軽に参加できる取組みがあるといい。

海岸、河川美化。

毎年継続できる活動内容を実行できる予算をつけて市報表紙で経過報告とボランティア募集等を実施すること。